Orchestrating a brighter world NEC

環境報告書2024

NECファシリティーズ

CONTENTS

ごあいさつ 3

会社概要 4

会社組織図 4

事業概要 5

環境方針 6

環境管理組織図 7

環境コンプライアンス状況（法令順守） 7

2023年度　環境活動ハイライト 8

1. 省エネルギー対応

2. 省資源対応

3. 災害対策ソリューション

4. 環境コミュニケーション

2023年度　環境負荷データ 13

2023年度　環境管理活動目標・実績 14

2024年度　環境管理活動計画 14

2023年度　温室効果ガス排出量 15

関連HPのご紹介 15

連絡先等 巻末

ごあいさつ

NECファシリティーズは、お客様の工場施設運営を重要経営戦略としてとらえ、Factory life cycle management（用地取得、工場建設、施設管理、工場改修等）をESG※視点で最適な状態にするために、保有、運営、維持を継続的に改善、改革するTotal IFM（Integrated Facility Management）で貢献する企業です。多角的かつ専門性を有した事業見地で工場施設運営の計画立案から運用までを一括でアウトソーシングが可能です。これによりお客様はリソースをコア事業に注力することができ、災害・カーボンニュートラル・規制に対する経営効率と、成長力の更なる向上が期待できます。

Total IFM は施設管理事業、建設事業、環境事業、不動産事業、保険事業の5つの事業のシナジーによって、管理・修繕を中心とする従来の施設管理はもとより、包括的で経営的な視点から、施設・設備の構想・設計、設備の調達・施工方法の選択、施設設備の状態診断から維持管理効率の改善を実施し、お客様の経営基盤の一つである工場施設の資産効率を改善しております。また、半導体・電子部品、医薬品工場等で培った5つの事業領域のマイスターの知見やノウハウに加え、NEC DX Facility Management Serviceによりデータ化された施設設備の状態に基づく製造ラインを止めない運用と、変化対応力のある投資計画の策定など、お客様の工場施設運営の効率化、将来に向けての最適化をはかってまいります。

2023年度もさまざまな環境事業を展開いたしましたが、特に、

- データセンター等における国内トップクラスの省エネ性能のご提供
- 排気処理・排水処理の設備工事に関する環境ソリューションのご提供

について、お客様より多くのご支持、ご好評をいただいております。
今後も当社の事業を通じ、全社をあげてご支援、環境貢献に努めてまいります。

この度、2023年度に当社が行った環境活動を「環境報告書2024」として発行し、ご紹介させていただく運びとなりました。
つきましては、是非ご高覧いただき当社の環境活動への取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

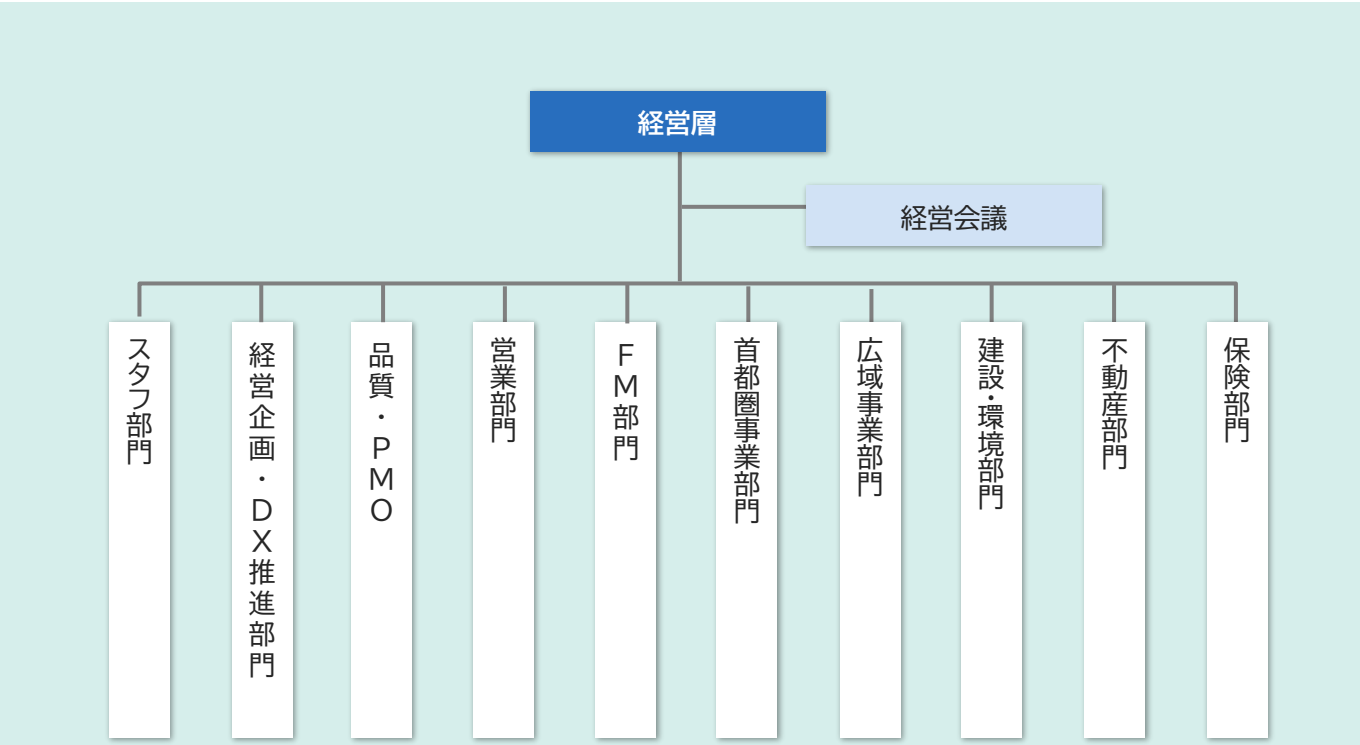
NECファシリティーズ株式会社
代表取締役執行役員社長
橋谷　直樹

※ESG：企業の「Environmental環境」「Social社会」「Governanceガバナンス」の取り組みを指す指標です。ESGに優れた企業は、顧客や投資家から高い評価を受けます。持続可能な社会の実現に貢献しながら、企業価値の向上にもつながるのがESGの特徴です。

会社概要

社　　名	：	NECファシリティーズ株式会社（略称：NECF）
創　　立	：	1966年12月
本社所在地	：	〒105-0014　東京都港区芝二丁目22－12（NEC第二別館）
資　本　金	：	2億4千万円
代　表　者	：	代表取締役執行役員社長　橋谷 直樹
従業員数	：	単独 1,837名　/ 連結 2,299名（2024年4月1日現在）
売　上　高	：	単独 1,752億円 / 連結 2,195億円(2023年度)
グループ会社	：	NECプラントエンジニアリング株式会社 株式会社近畿分析センター

会社組織図



DX: Digital Transformation
PMO: Project Management Office
FM: Facility Management

※2024年7月1日現在

事業概要

Total IFM

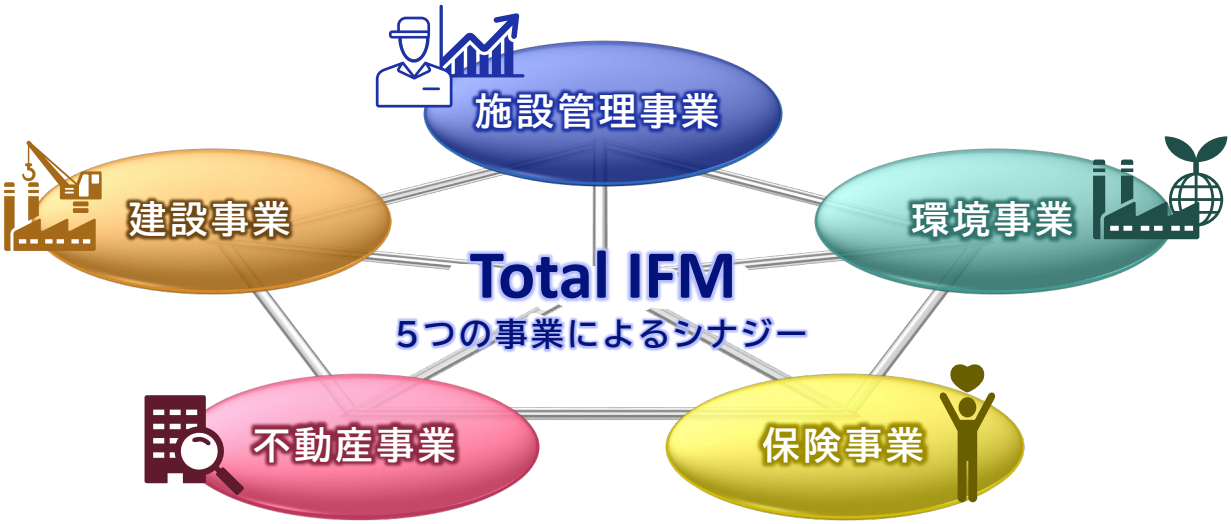
Total Integrated Facility Management

多様化するニーズに的確に対応し、
お客様の潜在的な課題まで解決します。

当社は、お客様の重要な経営資源である工場施設のFactory life cycle managementにTotal IFM（施設管理、建設、環境、不動産、保険の5つの事業のシナジー）で貢献する企業です。

私たちの大きな特長は二つ。一つは、5つの事業がお互いに連携を図ることにより、幅広い視点からお客様の課題やニーズに対応できること。もう一つは、5つの事業においてさまざまな公的資格取得者を擁する“工場施設運営のプロフェッショナル集団”として、お客様の潜在的な課題まで見いだして解決策を提案できる点です。

お客様の資産価値を維持・向上させ、より効率的・安定的な経営環境を実現するビジネスパートナーとして、各事業分野の総力を結集して多彩なサービスを創出してまいります。



環境方針

基本方針

NECファシリティーズは、不動産、建設、オフィス管理、プラント施設、環境、保険の事業活動を通じて、一人ひとりの意識の向上を図り、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に貢献します。

行動指針

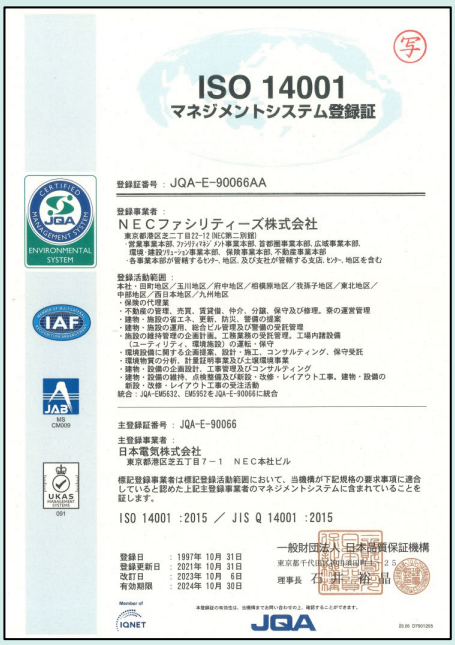
1. 全ての事業領域において企画・計画の段階から環境・安全に配慮し、省資源・省エネルギー、廃棄物発生の抑制、再利用・資源化を進め環境影響の低減に努めます。
2. 環境に関する法規制・条例や自主的な取り決め事項を順守し、お客様や社会への責任を果たします。
3. 経営活動の一環として環境目標を設定し、改善活動を展開すると共に定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
4. 環境方針は、従業員への環境教育・訓練の徹底と共に、協力会社への指導・支援を含め周知し、一般の人が入手可能なように開示します。

NECファシリティーズ株式会社
代表取締役執行役員社長
橋谷 直樹

※環境方針は社外のどなたでも入手又は閲覧できます。

● ISO14001認証状況

審査機関	：	一般財団法人 日本品質保証機構（JQA）
登録日	：	1997年10月31日
登録証番号	：	JQA-E-90066AA
登録事業者名	：	NECファシリティーズ株式会社 東京都港区芝二丁目22－12（NEC第二別館）


ISO 14001
マネジメントシステム登録証

登録証番号 ： JQA-E-90066AA

登録事業者 ：
ＮＥＣファシリティーズ株式会社
東京都港区芝二丁目22-12（NEC第二別館）
・営業事業本部、ファシリティプラン事業本部、首都圏事業本部、広域事業本部、環境・建設ソリューション事業本部、保険事業本部、不動産事業本部
・各事業本部が管轄するセンター、地区、及び支社が管轄する支店、センター、地区を含む

登録活動範囲 ：
本社・田町地区／玉川地区／府中地区／相模原地区／我孫子地区／東北地区／中部地区／西日本地区／九州地区
・保険の代理業
・不動産の管理、売買、賃貸借、仲介、分譲、保守及び修理、寮の運営管理
・建物・施設の省エネ、更新、防災、警備の提案
・建物・施設の運用、総合ビル管理及び警備の受託管理
・施設の維持管理の企画計画、工務業務の受託管理、工場内諸設備（ユーティリティ、環境施設）の運転・保守
・環境設備に関する企画提案、設計・施工、コンサルティング、保守受託
・環境物質の分析、計量証明事業及び土壌環境事業
・建物・設備の企画設計、工事管理及びコンサルティング
・建物・設備の維持、点検整備及び新設・改修・レイアウト工事、建物・設備の新設・改修・レイアウト工事の受注活動
統合：JQA-EM5632、EM5952をJQA-E-90066に統合

主登録証番号 ： JQA-E-90066

主登録事業者 ：
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目７－１　ＮＥＣ本社ビル

標記登録事業者は標記登録活動範囲において、当機構が下記規格の要求事項に適合していると認めた上記主登録事業者のマネジメントシステムに含まれていることを証します。

ISO 14001 :2015 ／ JIS Q 14001 :2015

登録日	：	1997年 10月 31日
登録更新日	：	2021年 10月 31日
改訂日	：	2023年 10月 6日
有効期限	：	2024年 10月 30日

一般財団法人 日本品質保証機構
理事長 石田 裕一郎

環境国際規格「ISO14001」認定登録証

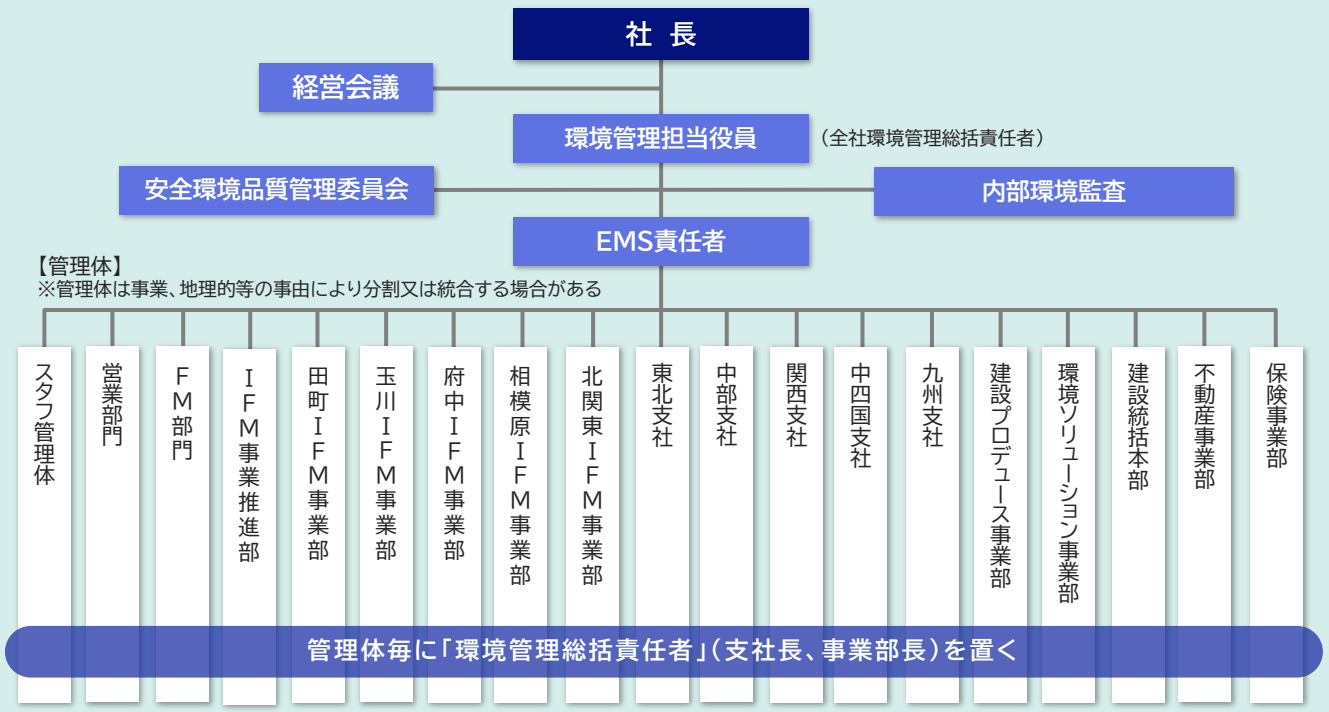
環境管理組織図

当社では、経営会議により方針を決定し、それを受け、全社環境管理総括責任者による環境管理活動を展開しております。

日常の活動は、環境マネジメントシステム責任者（EMS責任者）が取りまとめを行い、各管理体（事業部門）選出の環境管理総括責任者/統括責任者等によって環境マネジメントが実行されております。

また、重要事項は環境管理総括責任者で構成される安全環境品質管理委員会により協議、伝達されております。

NECファシリティーズ　環境管理組織図



FM：Facility Management
IFM：Integrated Facility Management

※2024年7月1日現在

環境コンプライアンス状況（法令順守）

当社は、定期的に環境関連法規制の順守状況を確認しております。

また、NECによる環境経営監査、外部審査機関による環境ISO審査をはじめ、NECグループ全社員対象の「NECコンプライアンス研修」（Eラーニング）でも環境コンプライアンス研修を行い、順守状況について確認を行っております。

2020年	7月	法律その他の要求事項確認結果	→ 不順守事項なし
2021年	6月	法律その他の要求事項確認結果	→ 不順守事項なし
2022年	6月	法律その他の要求事項確認結果	→ 不順守事項なし
2023年	6月	法律その他の要求事項確認結果	→ 不順守事項なし
2024年	6月	法律その他の要求事項確認結果	→ 不順守事項なし

NEC環境経営監査

2023年度　環境活動ハイライト

1. 省エネルギー対応

■省エネルギー対応の最適化ソリューションをご提供

当社は、データセンターの立地選定から企画、構築、運用管理面までをワンストップで支援することで、「省エネを進めたい」「運用コストを減らしたい」などのお客様のニーズに対するトータルでのサポートを行っております。

ZEB※1 については、コンサルティングから設計・施工、実現後の施設管理に必要な運用フェーズまで、一貫したサポート体制をご提供できるのが特徴です。

※1　ZEB:Net Zero Energy Buildingの略称

【NECグリーンデータセンター開設プロジェクト】

このプロジェクトでは、NECの戦略コンサルティングから実装まで、お客様のDX実現を支援するための「NEC Digital Platform」を提供しております。

これを支える共通基盤として、災害に耐え、かつ高いセキュリティ性を実現する「安全・安心」、省電力化による「高効率・グリーン」、各種クラウドサービスへの接続を可能にする「コネクティビティ」を整備、これら3つの特長を備えたデータセンターを展開しており、旺盛な需要に対応するため神奈川と神戸に新棟が開設されました。

100%再生可能エネルギーを活用した
グリーンデータセンター

NEC神戸データセンター三期棟

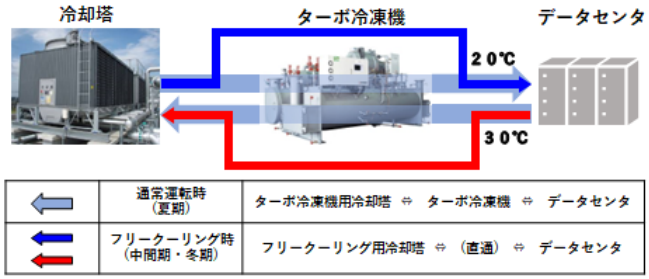
NEC神奈川データセンター二期棟

【高温冷水式空調の採用】

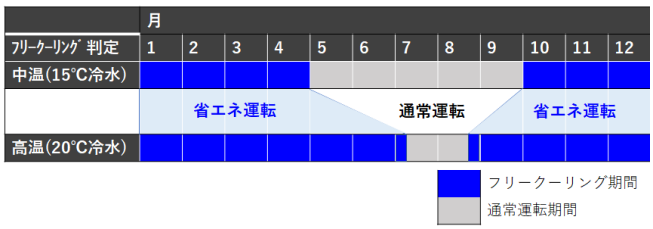
空調用の冷水が20℃でも十分な冷却効果を得ることができるため、冷水製造にかかるエネルギーを削減できます。

特にフリークーリング※2と組み合わせた場合、その稼働期間を長期化できるため、システム全体では30%以上のエネルギーが削減できます。

※2　フリークーリング:中間期・冬期に冷凍機を使わず冷却塔で空調用冷水を冷却すること



フリークーリング簡易イメージ図



中温 - 高温冷水式空調運転の比較

【地下水の有効利用】

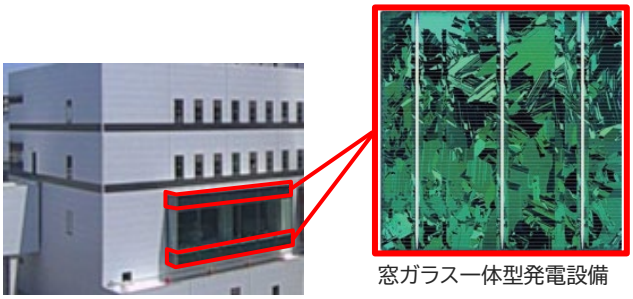
データセンターの冷却塔用補給水として、環境負荷の小さい井戸水の利用を開始しました。井戸水は、浄化処理や配水設備が簡素化できるため、市水(水道水)と比べてCO_2排出量を大幅に抑えることができます(原単位あたり22%削減見込み)。

また、24時間365日稼働し続けるデータセンターにおいて、BCP対策の強化とランニングコスト削減にも貢献できます。

これらの活動を通じ、当社のデータセンターソリューションをさらに展開していきたいと考えております。

■再生可能エネルギーソリューションをご提供

当社は、太陽光発電システム導入において、現状把握から最適提案、発電量・日影シミュレーション、設計・施工、効果確認、メンテナンスまでワンストップ体制で取り組んでおります。 2023年度も新技術を採用した太陽光発電システムを含め、多くの太陽光発電システムをご提供しました。



窓ガラス一体型発電設備

【ご提供事例】

カーポート両面発電設備

野立て太陽光追尾型発電設備

【太陽光発電システムのご提供プロセス】

	① 導入前検討	② 立　案	③ 基本設計	④ 実施設計	⑤ 各官庁等協議	⑥ 構　築	⑦ 評　価	⑧ アフターフォロー
お客様	● 目的の明確化 ● 導入時期検討	● 計画のまとめ	● 設計プランの確認	● 工事契約	● 各申請書類の承認	● 定例会議にて進捗確認	● 売電開始	● 維持管理委託
NECファシリティーズ	● ニーズの確認 ● 既存図面入手	● 建物構造計算 ● 設置建物確認 ● 設置場所確認 ● 周辺環境確認	● パネル割付 ● 配線ルート ● 発電、日影シミュレーション ● 地盤地下対策 ● 概算金額提出 ● 投資回収試算	● 詳細設計 ● 施工図作成 ● 官庁届出用技術データ収集	● 電力会社 ● 地方経済産業局 ● 地方自治体 ● 各スケジュール確認	● 施工管理 ● 定例会議にて進捗報告	● 発電量の確認 ● 導入変換機器効率評価	● 維持管理 ● 定期点検 ● 定期修繕

■その他の省エネルギー対策ソリューション

多くのお客様へさまざまな省エネルギー対策ソリューションをご提供しております。

- 建 物 ： 屋根の断熱性能改善、窓の断熱性能改善、自然エネルギー利用型建築　等
- 空 調 ： 空調機リプレース、換気量制御、換気からの熱回収　等
- 電 気 ： 高効率変圧器、力率改善、分散発電　等
- 照 明 ： 高効率器具への更新、LED機器、センサー照明、調光システムへの交換　等
- 動 力 ： インバーター制御、ポンプ再生施策、高効率機器へのリプレース　等

※写真下に記載の削減効果率は見込値となります

照明のLED化
（約50%削減）

省エネ型空冷チラーへの更新
（約9%削減）

高効率コンプレッサーへの更新
（約15%削減）

2. 省資源対応

■ 工場の環境負荷を低減するソリューションを展開

化学薬品を多く扱う製造業の工場では、多くの環境付帯設備※1が設置されております。

当社では、NECの半導体工場の構築、運転管理の経験を基に、環境付帯設備の設計、施工、メンテナンス、運転管理の実績を積み重ねてまいりました。

これらの経験から、多様な設備同士の相互の影響を含め、工場全体のバランスを考慮した『全体最適』視点で、環境負荷低減対策をご提供します。

※1　環境付帯設備：製品の生産に直接使用する設備ではなく、生産を行うにあたって必要となるユーティリティーの供給設備(純水、薬品供給設備)、生産後に生じる排ガス・排水を処理する設備等のことを指します。

【環境負荷低減ソリューション現地調査の取り組み】

半導体を製造するお客様からは、工場全体の環境付帯設備調査をご要望を頂き、省資源・リスク対策など、幅広い視点で既存設備の運用データ確認を含めた現地調査を実施しました。

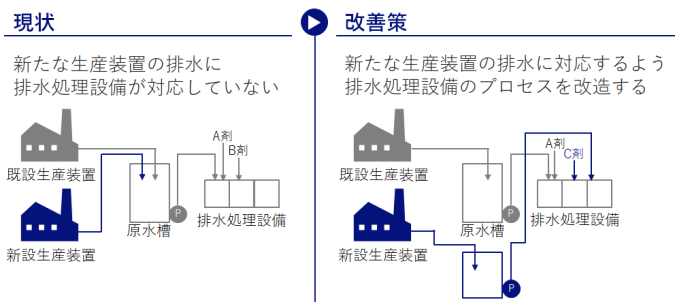
調査結果からお客様のニーズに合う複数の改善案を提示し、現在は設備改造の提案を行っております。また、この報告をもとに他拠点の現地調査のご相談もいただきました。環境負荷低減にご興味のあるお客様には、当社のソリューションをさらに展開していきたいと考えております。

【半導体工場での環境負荷低減の提案】

環境負荷低減のポイント - 性能改善／設備更新の提案

長年の運用経験から、製品需要の変化に伴う生産ライン変更が生じ、それに伴い排水や排気性状にも変化が生じている可能性が有ります。そのため、現在の生産状況に合わせ、環境付帯設備の運用条件の調整や設備更新を行うことで、処理性能の向上、安定化、省エネ、排水・廃棄物量の削減につながる可能性が有ります。

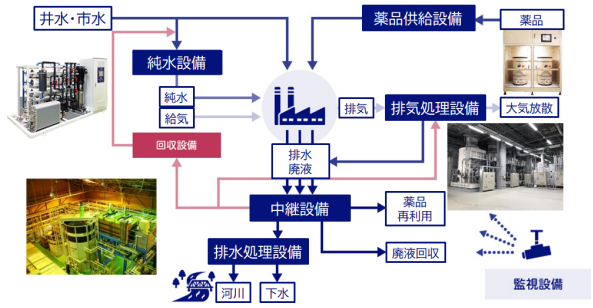
例：生産の変化に対応した排水処理設備の改造



総合的な環境負荷低減対策

NECファシリティーズは工場全体の総合的な環境負荷低減を提案

長年の経験を生かし、全体最適の考えでお客様の事業拡大、安定稼働に貢献していきます。



展示会への出展

第4回脱炭素経営EXPO

第4回脱炭素経営EXPOに出展し、環境負荷低減ソリューションの紹介を行いました。当社のソリューションは、

『企業の経営戦略と直接関係する環境・社会への配慮』

につながる施策であることから、昨今のESG※2投資の重要性の高まりに伴い、注目を集めております。

当日は多くの製造業のお客様にご来訪いただき、当社のソリューションの実施背景と提供価値、実行時のプロセスの進め方をご説明しました。ご来場いただいたお客様からは非常にご興味をお持ちいただき、現場の困りごとに関してのご相談も行うことができました。

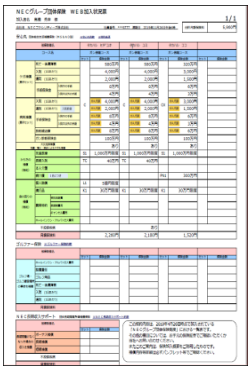
これらにより、多くのお客様に当社のソリューションをご認知いただき、持続可能な社会の実現に向けて、当社の必要性をご認識いただける機会となりました。

※2　ESG：企業の「Environmental環境」「Social社会」「Governanceガバナンス」の取り組みを指す指標です。ESGに優れた企業は、顧客や投資家から高い評価を受けます。持続可能な社会の実現に貢献しながら、企業価値の向上にもつながるのがESGの特徴です。

■ 自動車保険/傷害疾病保険のWeb化

当社は、災害リスクに応じた各種保険のご提供や、ペーパーレスなどの環境に配慮した保険手続きを推進しております。特に、ペーパーレスについては、自動車保険既契約者（約50,000名）の方々にWebで更新手続きを進めていただけるよう推進しており、当社保険サイトのトップページからWeb更新手続きに遷移できる画面構成になっております。また、NECグループ団体傷害疾病保険（安心丸）既契約者（約30,000名）の加入状況を保険サイトからも閲覧できます。

年1回の安心丸の定期募集では、環境負荷軽減の観点から従来の“紙資材配布”による募集⇒“Web募集”への切替を推進しております。2023年度はグループ74社の完全Web募集を実現（対象：約76,000名）。これにより紙での配布物は、A3版換算で316万枚削減と対前年度比で約2倍の削減効果を実現できました。



団体傷害疾病保険
Web加入状況票

3. 災害対策ソリューション

■ 委託先の緊急対応訓練

大地震、津波、集中豪雨（豪雪）など天災を想定した訓練を行うなど、環境リスクはもとより地域特性や気象変動を考慮したさまざまなテーマで訓練を実施しました。また、当社が受託する環境関連施設からの重油漏洩を想定した訓練も実施しました。

これにより、緊急対応力が向上し、さらに備品・器具等の見直しで、より効率的な運用に改善することができました。

2023年度は、NECグループ外を含めて320件の訓練を実施しました。

漏洩した重油回収訓練

化学物質漏出防止訓練

屋外消火栓操法訓練

4. 環境コミュニケーション

■ SDGsグリーンパートナーズ認定エコ事業所

中部支社はこのたび、「なごや SDGs グリーンパートナーズ」の「認定エコ事業所」に認定されました。

NECグループの一員として、SDGsの目標のうち「12.つくる責任　つかう責任」と「13.気候変動に具体的な対策を」を業務の中で強く意識し、カーボンニュートラル実現に寄与する活動を積極的に推進しております。

SDGs グリーンパートナーズ認定証

今回の認定を機に、中部支社は次の3つの施策に積極的に取り組む計画です。

(1)カーボンニュートラルを意識した診断サービスの提供
(2)エネルギーの収支を可視化し効率化を提案
(3)廃棄に関する取り組みを検討

■ イベント等での環境対応ソリューションの紹介

2023年度は、「医薬品インターフェックスジャパン出展」「脱炭素経営EXPO出展」など、多くの国内大型展示イベントへ出展し、省エネ技術、高効率施設管理など、当社の持つ多くの環境関連技術をお客様にご紹介することができました。

当社では、お客様を対象としたセミナー開催のなかで、これらの環境対応ソリューションについても紹介しております。

また、当社は、日本の製造業を代表する電子デバイス製造企業を固定メンバーとし、半導体工場運営ファシリティ分科会を、年2回の頻度で参加企業が構える拠点で開催しております。これはファシリティ部門の管理職を対象とし、講義形式のワンウェイではなく、エネルギーマネジメントや効率的施設管理運営など抱える課題や深めたい知見を共有したり、時には参加企業間で議論したり、意見交換を行う場となっております。

さらに、化学業界や医薬品・自動車関連の製造業工場へ向けたファシリティセミナーを開催しております。「環境負荷低減」と「カーボンニュートラル」をテーマに、環境負荷を全体最適の観点で低減する取り組みや、カーボンニュートラルに関する取り組みについて紹介すると共に、意見交換の場ではそれぞれの課題や知見を参加者同士で共有しました。

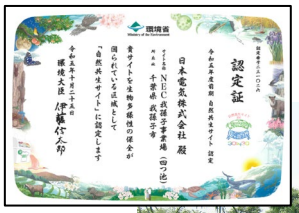
インターフェックスジャパン出展

セミナーの様子

■生物多様性保全・地域とのコミュニケーション

NEC 我孫子事業場の四つ池を中心に展開している生物多様性活動が、令和5年度前期の環境省の『自然共生サ イト』に認定されました 。NEC我孫子事業場では 、2009年より継続して希少生物の保全活動を 推進しており 、今回その活動が正式に認められました。

当社もこの活動に参画させていただきました。



認定証

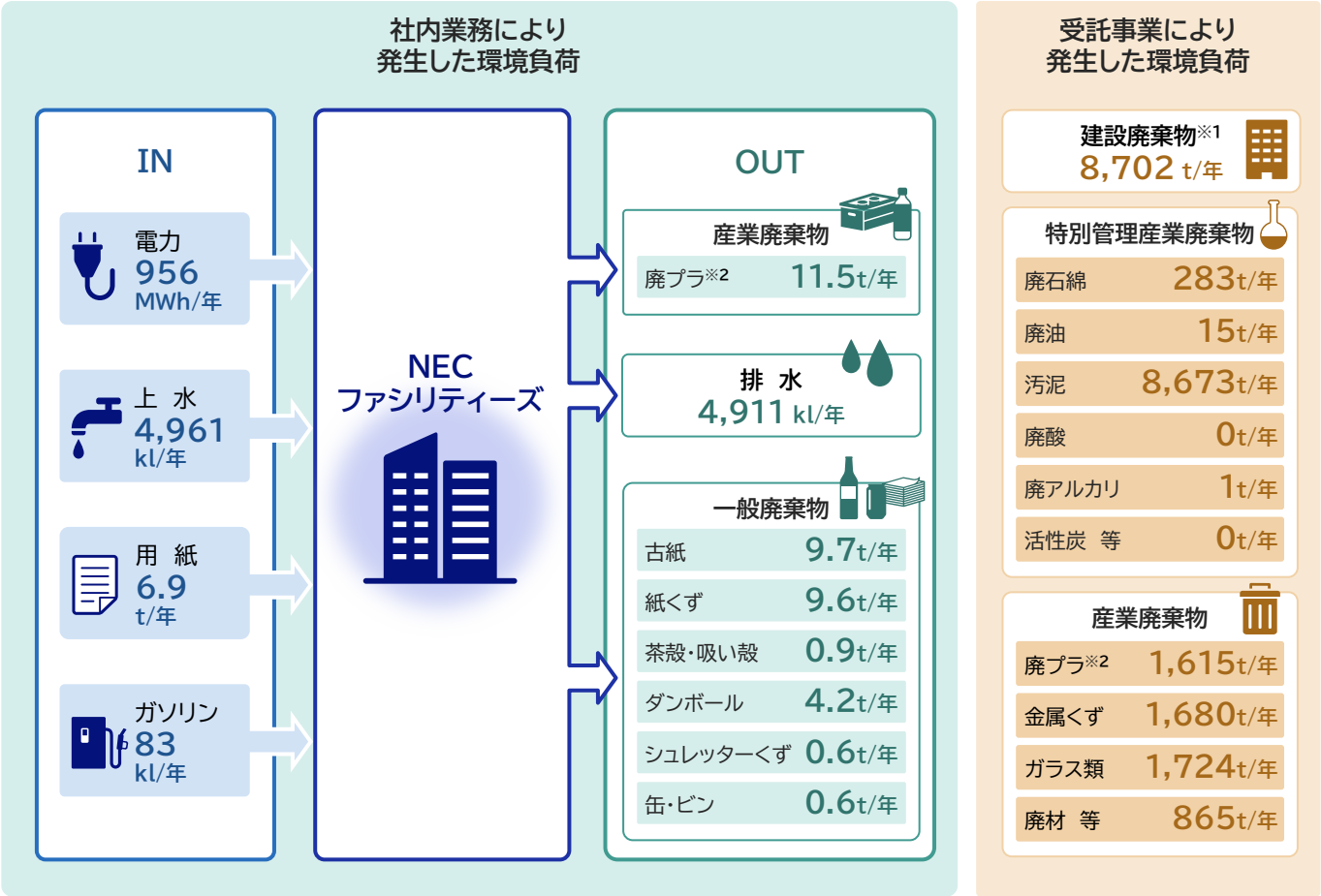
NEC我孫子事業場の四つ池

当社が常駐する事業所では、地域の方々とのコミュニケーションを図りながら、生物多様性保全活動・地域社会貢献活動の開催支援や活動参加を継続的に行っております。

環境活動支援/参加事例

相模川クリーン作戦 / 古川通り歩道清掃
大新田海岸清掃（写真右下）
酒匂川統一美化キャンペーン（写真右上）
広瀬川清掃活動（写真左），他

2023年度　環境負荷データ



※1：建設廃棄物についてはリサイクル率95%以上を達成しております。

※2：廃プラについては「プラスチック資源循環促進法（通称：新プラ法）」に準拠し、「産廃契約書の管理」「産廃マニフェスト伝票管理」「産廃処分場現地確認」「廃棄物管理教育（環境管理専門教育）」により、排出抑制や再資源化促進等を実施しております。

【社内業務により発生した環境負荷】

電　力　：本社（NEC第二別館）及び当社がテナント入居する12ビルの合算使用量です。

上　水　：本社（NEC第二別館）の飲料及び生活用途での使用量です。

用　紙　：当社全体のコピー用紙等の購入量です。

ガソリン　：当社全体の営業車燃料の購入量です。

産業廃棄物　：本社（NEC第二別館）で発生した廃プラの排出量です。※全てサーマルリサイクルされております。

一般廃棄物　：本社（NEC第二別館）で発生した事業系一般廃棄物の排出量です。

※古紙は機密文書、古紙、MIX紙の排出量です。

※古紙、ダンボール、シュレッダーくず、缶・ビンはマテリアルリサイクルされております。

※紙くず、一般ゴミ等はサーマルリサイクルされております。

排　水　：本社（NEC第二別館）で発生した生活排水量です。

省エネ法　：電力使用量並びに都市ガス使用量の原油換算値は省エネ法特定事業者（原油換算1500kL）には該当しませんが、当社では省エネプロジェクトを発足し本社（NEC第二別館）及び当社がテナント入居する12ビルの省エネ推進を実施しております。

【受託事業により発生した環境負荷】

建設廃棄物　：建設元請け事業により発生した建設廃材等の排出量です。

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物：建設元請け事業やその他の受託事業で発生した廃プラ、廃石綿、廃酸等の排出量です。

2023年度　環境管理活動目標・実績

環境目的・目標	評価指標	目標値 / 実績値	
目的 1 重大環境事故・法令違反の未然防止。 目標：発生件数0件	発生件数 （件）	目 標	0件
		実 績	0件 （軽微:1件発生）
目標①：事業内容や地域の特性を考慮し、想定した緊急事態対応訓練を実施する。 目標実施率：100%	訓練実施率 （%）	目 標	100%
		実 績	100%
目標②：NEC環境教育（eラーニング）を受講する。 目標受講率：95%以上	受講率 （%）	目 標	95%以上
		実 績	100%
目的 2 ご提案書又はそれに準ずる帳票を活用した環境・省エネ提案を行う。 目標：1,100件以上	提案件数 （件）	目 標	1,100件
		実 績	1,277件
目的 3 NECF対象ビルの電力使用量を2017年度比CO_2換算で25.2%以上削減する。 目標：449.9 t-CO_2以下	13ビル 電力使用量	目 標	449.9t-CO_2以下
		実 績	437.0t-CO_2
目的 4 生態系・生物多様性保全に寄与する活動に参加する。 目標：650件以上	参加件数 （件）	目 標	650件
		実 績	765件

※「2023年度　当社環境管理実施計画書[進捗管理]（全社版）」より抜粋

2024年度　環境管理活動計画

環境目的・目標	目標値
目的 1 重大環境事故・法令違反の未然防止。	発生件数 0件
目標①：事業内容や地域の特性を考慮し、想定した緊急事態対応訓練を実施する。 目標実施件数：288件	実施率 100%
目標②：NEC環境教育（eラーニング）を受講する。	受講率 95%以上
目的 2 エコアピールプロポーザルの推進を行う。 目標①：ご提案書又はそれに準ずる帳票を活用した環境・省エネ提案を行う。	1,100件以上
目的 3 NECF対象ビルの電力使用量を削減する。 目標①：NECF対象ビルの電力使用量を下記の2023年度実績（CO2換算）以下とする。 ※2023年度：電力使用量（CO_2換算：437.0t-CO_2） ※CO_2換算係数　2023年度：0.457t/MWh　2024年度：0.456t/MWh	437.0t-CO_2以下 （958MWh以下）
目的 4 生態系・生物多様性保全に寄与する活動に参加する。 目標①：790件以上 ※目標内訳：保険事業本部：150件、不動産事業本部：100件、スタフ管理体：540件	790件以上

※「当社エコアクションプラン2024」より抜粋

2023年度　温室効果ガス排出量

当社は、事業活動に伴う温室効果ガス排出量を継続的に把握することを目的として、2023年度から算定を開始しました。

温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算出しており、2023年度の活動量に対する当社の温室効果ガス排出量は以下の通りとなります。

Scope	概要	算定対象範囲	温室効果ガス排出量（単位：t-CO2）
Scope1	事業者が所有または管理する排出源から発生する温室効果ガスの直接排出	社用車使用時の燃料使用量	190
Scope2	電気、蒸気、熱の使用に伴う温室効果ガスの間接排出	本社及び当社入居しているテナント計13ビルでの電力消費量	437
Scope3	Scope 1および2を除く、企業の上流・下流工程を網羅したその他の間接排出	以下内訳参照	107,764
温室効果ガス排出量合計			108,391

Scope3内訳は以下になります

Category	概要	算定対象範囲	温室効果ガス排出量（単位：t-CO2）
Category1	原材料・部品、容器・包装などが製造されるまでの活動に伴う排出	自社へ投入された原材料・部品、商品、サービス等全般	104,047
Category5	自社で発生した廃棄物の輸送処理に伴う排出	一般廃棄物および建設廃材など産業廃棄物全般	2,946
Category6	従業員の出張に伴う排出	出張等、業務における移動の際に使用された交通機関における燃料・電力消費	239
Category7	従業員が通勤する際の移動に伴う排出	通勤の際に使用した公共交通機関（鉄道、バス）および車、バイク	532

※温室効果ガス排出量はNECF単独で算定しております。
※温室効果ガスとは、CO_2（二酸化炭素）、CH_4（メタン）、N_2O（一酸化二窒素）、HFCs（ハイドロフルオロカーボン類）、PFCs（パーフルオロカーボン類）、SF_6（六フッ化硫黄）、NF_3（三フッ化窒素）を指します。

関連HPのご紹介

NEC（環境ページ）　https://jpn.nec.com/eco/ja/
NECファシリティーズ　https://www.necf.jp/
※HPアドレスは2024年7月現在のものです

Fun to share
みんなでシェアして、低炭素社会へ。

NECファシリティーズ(株)は『Fun to Share』に参加し、
社員一丸となって、低炭素社会にむけた取り組みを行っております。

賛同宣言文

NECファシリティーズは、省エネソリューションサービスを通じて、
人と地球に優しい低炭素社会の形成に貢献します。

ご質問/ご意見等をお寄せください…
ご質問/ご意見等がございましたら、お手数ですが下記の発行元/連絡先までお寄せください。

●発行元/連絡先
発　行：2024年 8月
連絡先：〒105－0014　東京都港区芝二丁目22－12(NEC第二別館)
NECファシリティーズ株式会社
IFM品質保証部
TEL:03-5476-5608

品証3(環境)-24-001